



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年10月30日  
上場取引所 東

上場会社名 旭有機材工業株式会社  
コード番号 4216 URL <http://www.asahi-yukizai.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤原 孝二  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部総務・人事部長 (氏名) 上荷田 洋一 TEL 03-3578-6001  
四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日 配当支払開始予定日 平成27年12月7日  
四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	20,882	9.5	694	37.1	810	13.5	625	36.8
27年3月期第2四半期	19,068	20.6	506	—	714	326.7	457	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 324百万円 (102.8%) 27年3月期第2四半期 160百万円 (△77.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	6.52	—
27年3月期第2四半期	4.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	54,878	39,143	70.9	405.77
27年3月期	57,697	39,108	67.3	405.05

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 38,888百万円 27年3月期 38,823百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
28年3月期	—	3.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,000	5.3	1,600	33.7	1,750	△0.8	1,150	△0.1	12.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	99,002,000株	27年3月期	99,002,000株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	3,163,939株	27年3月期	3,155,651株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	95,842,679株	27年3月期2Q	97,644,388株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、政府の経済政策や日本銀行による金融緩和策の継続などを背景に、企業収益の伸長や設備投資の回復傾向などにより、緩やかな上昇基調にて推移しました。また、海外においては、中国経済の減速観測を端緒とした世界的な株式市場の混乱や欧州経済の停滞等があり、先行きが不透明な状況下にあります。このような状況の中、当社グループでは、国内需要の取り込み強化や海外での拡販活動による売上の確保に努めました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は20,882百万円(前年同期比+9.5%)となり、営業利益は694百万円(前年同期比+37.1%)、経常利益は810百万円(前年同期比+13.5%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は625百万円(前年同期比+36.8%)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## ① 管材システム事業

主力の配管材料は、好調な国内設備投資の継続により、バルブを中心に売上が堅調に推移しました。また、エンジニアリング事業において、昨年度に受注した大型物件の完工も寄与し、対前年で大幅に売上が増加しました。海外は米国および韓国において、バルブを中心とした管材需要の好調により、売上が堅調に推移しました。

利益面では、売上高が伸びたことやバルブなどの高付加価値製品の販売の増加により対前年で増加しました。

その結果、当セグメントの売上高は12,146百万円(前年同期比+17.4%)、営業利益は942百万円(前年同期比+102.2%)となりました。

## ② 樹脂事業

主力の素形材用途向け製品は、国内において一部の自動車向け顧客への販売が好調に推移したものの、建設機械向けの需要が依然として低調に推移したことなどにより、売上は伸び悩みました。また、海外において、旭有機材樹脂(南通)有限公司が中国の景気減速の影響を受け、中国国内販売が低調に推移しました。その結果、全体として売上は前年を下回りました。

建材や半導体・液晶パネル向け機能樹脂製品は、断熱材用途およびトンネル掘削時に用いる固結材「AGSR<sup>®</sup>」が順調に売上を伸ばしました。電子材料用途向け製品は、台湾を始めとした主要市場での市況が悪化しており、売上は伸び悩みました。また、工業用向け樹脂製品も、建材用途等の販売量が減少しました。

利益面においては、収益向上の一環として在庫拠点の集約化等を推進しておりますが、売上の減少、中国での販売価格下落の影響および在庫評価の厳格化による評価損の増加により損失が拡大しました。

その結果、当セグメントの売上高は6,558百万円(前年同期比△1.1%)、営業損失は278百万円(前年同期の営業損失は74百万円)となりました。

## ③ 水処理・資源開発事業

主力の水処理事業においては、官需の上水、下水設備ともに更新需要案件が多く、また民需についても、都市部での旺盛なビル再開案件、民間設備投資意欲の高まりを受け、売上は対前年を上回りました。また、水処理施設等のメンテナンス・維持管理事業についても、新規顧客の獲得や、修繕工事の受注が増加したことにより堅調に推移しました。しかしながら、資源開発事業については、長引く電力会社の投資圧縮の影響等により、売上高は対前年を大幅に下回る結果となりました。

利益面では、事業拡大に備えた人員増及び地熱用大型掘削機材の設備投資を行った結果、労務費及び償却費等が増加し、対前年を下回る結果となりました。

その結果、当セグメントの売上高は2,178百万円(前年同期比+4.4%)、営業損失は9百万円(前年同期の営業利益は75百万円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産は54,878百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,819百万円減少しました。これは主に受取手形及び売掛金などの流動資産、及び投資有価証券が減少したことによるものです。負債は15,736百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,853百万円減少しました。これは主に支払手形及び買掛金、及び短期借入金などの流動負債が減少したことによるものです。純資産は39,143百万円となり、前連結会計年度末に比べ34百万円増加しました。これは配当金の支払いによる減少等がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月15日に公表した当連結会計年度の連結業績予想に対し、国内需要向けの販売が堅調に推移している管材システム事業において、増収・増益が予測されることなどから、グループ全体としては、増益となる見込みですが、樹脂事業に関しては、国内、中国において価格の低下や競争の激化などの影響をうけることが予測されることから、売上高は、グループ全体として前回公表と同水準になる見込みです。

以上により、前回公表の連結業績予想を修正しました。

(通期)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
前回発表予想 (A)	43,000	1,500	1,600	1,000
予想値 (B)	43,000	1,600	1,750	1,150
増減額 (B-A)	—	100	150	150
(ご参考)前連結会計年度実績 (平成27年3月期)	40,837	1,197	1,764	1,151

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

主として当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,937	7,480
受取手形及び売掛金	14,437	13,409
たな卸資産	8,485	7,920
その他	946	921
貸倒引当金	△19	△14
流動資産合計	31,787	29,716
固定資産		
有形固定資産		
土地	6,120	6,123
その他(純額)	10,877	11,070
有形固定資産合計	16,997	17,193
無形固定資産		
のれん	652	634
その他	309	325
無形固定資産合計	960	959
投資その他の資産		
投資有価証券	4,667	3,739
退職給付に係る資産	2,806	2,795
その他	503	500
貸倒引当金	△23	△24
投資その他の資産合計	7,953	7,010
固定資産合計	25,910	25,162
資産合計	57,697	54,878
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,232	7,376
短期借入金	1,087	308
未払法人税等	139	223
その他	4,348	3,285
流動負債合計	13,805	11,192
固定負債		
長期借入金	332	327
役員退職慰労引当金	178	144
退職給付に係る負債	1,620	1,640
その他	2,654	2,432
固定負債合計	4,783	4,543
負債合計	18,588	15,736
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	8,479	8,479
利益剰余金	23,005	23,343
自己株式	△1,067	△1,069
株主資本合計	35,417	35,753
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	831	609
繰延ヘッジ損益	△5	△5
為替換算調整勘定	1,301	1,397
退職給付に係る調整累計額	1,278	1,133
その他の包括利益累計額合計	3,406	3,135
非支配株主持分	285	255
純資産合計	39,108	39,143
負債純資産合計	57,697	54,878

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	19,068	20,882
売上原価	13,272	14,541
売上総利益	5,796	6,341
販売費及び一般管理費	5,289	5,646
営業利益	506	694
営業外収益		
受取利息	55	63
受取配当金	31	35
持分法による投資利益	0	11
複合金融商品評価益	94	—
為替差益	63	15
その他	20	51
営業外収益合計	264	175
営業外費用		
支払利息	6	16
有価証券償還損	9	22
支払補償費	22	12
その他	21	9
営業外費用合計	57	59
経常利益	714	810
特別利益		
固定資産売却益	12	2
特別利益合計	12	2
特別損失		
固定資産除却損	14	5
減損損失	27	—
特別損失合計	41	5
税金等調整前四半期純利益	684	807
法人税等	223	197
四半期純利益	461	610
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	4	△15
親会社株主に帰属する四半期純利益	457	625

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	461	610
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	56	△216
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	△294	81
退職給付に係る調整額	△75	△145
持分法適用会社に対する持分相当額	12	△6
その他の包括利益合計	△301	△286
四半期包括利益	160	324
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	145	355
非支配株主に係る四半期包括利益	14	△31



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結財務諸表計上額
	管材システム 事業	樹脂事業	水処理・資源 開発事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,349	6,633	2,086	19,068	—	19,068
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	10,349	6,633	2,086	19,068	—	19,068
セグメント損益(△は損失) (営業損益(△は損失))	466	△74	75	467	39	506

(注) セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分されない全社費用(主に報告セグメントに帰属しない基礎研究開発費及び報告セグメントが負担する一般管理費及び研究開発費の配賦差額)であります。

当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結財務諸表計上額
	管材システム 事業	樹脂事業	水処理・資源 開発事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,146	6,558	2,178	20,882	—	20,882
セグメント間の内部売上高 又は振替高	32	4	2	38	△38	—
計	12,178	6,561	2,180	20,919	△38	20,882
セグメント損益(△は損失) (営業損益(△は損失))	942	△278	△9	655	40	694

(注) 調整額の内容は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分されない全社費用(主に報告セグメントに帰属しない基礎研究開発費及び報告セグメントが負担する一般管理費及び研究開発費の配賦差額)であります。